

# 公開シンポジウム

## 若者の生活保障のために 何が必要か —ナショナルミニマムと ローカルオプティマムの観点から—

申込不要

入場無料

■ **日時**：2016年10月15日（土）

13:30～17:30

■ **場所**：日本学術会議 講堂

■ **プログラム**



シンポジウムの趣旨説明：本田由紀（東京大学教育学研究科教授）



### 第Ⅰ部 現場からの報告

- 「若者の貧困と政策課題」（仮題）：藤田孝典（NPO法人ほっとプラス代表理事、聖学院大学人間福祉学部客員准教授）
- 「若年女性が直面する社会状況」（仮題）：赤石千衣子（しんぐるまざーず・ふぉーらむ理事長）



### 第Ⅱ部 研究からの報告

- 「誰がどのようなリスクを抱えているか—家族背景／ジェンダー／地域—」：乾彰夫（首都大学東京名誉教授）
- 「若年生活困窮者に対する伴走型就労・社会参加支援—持続的な総合的コーディネート型支援と地域づくり—」：稲月正（北九州市立大学基盤教育センター教授）

### 第Ⅲ部 総合討論（司会）本田由紀

（コメンテーター）堀 有喜衣（労働政策研究・研修機構 主任研究員）